

すいすいビジョン2020 ~吹田の水標~

第2期アクションプラン

平成26年度(2014年度)~平成29年度(2017年度)

1. はじめに
2. 事業項目
3. 管理指標
4. 業務量の推計
5. 財政推計
6. 参考資料



すいすいくん

吹田市水道部

1. はじめに

「すいすいビジョン2020～吹田の水標」がスタートして4年が経過しました。水道部ではこの4年間、実行計画である「第1期アクションプラン」（平成22年度(2010年度)～平成25年度(2013年度)）に掲げる66事業について着実な執行とともに、その進捗状況や管理指標などを毎年経営レポートとしてまとめるなど、PDCAサイクルによる継続的な推進を図ってきました。

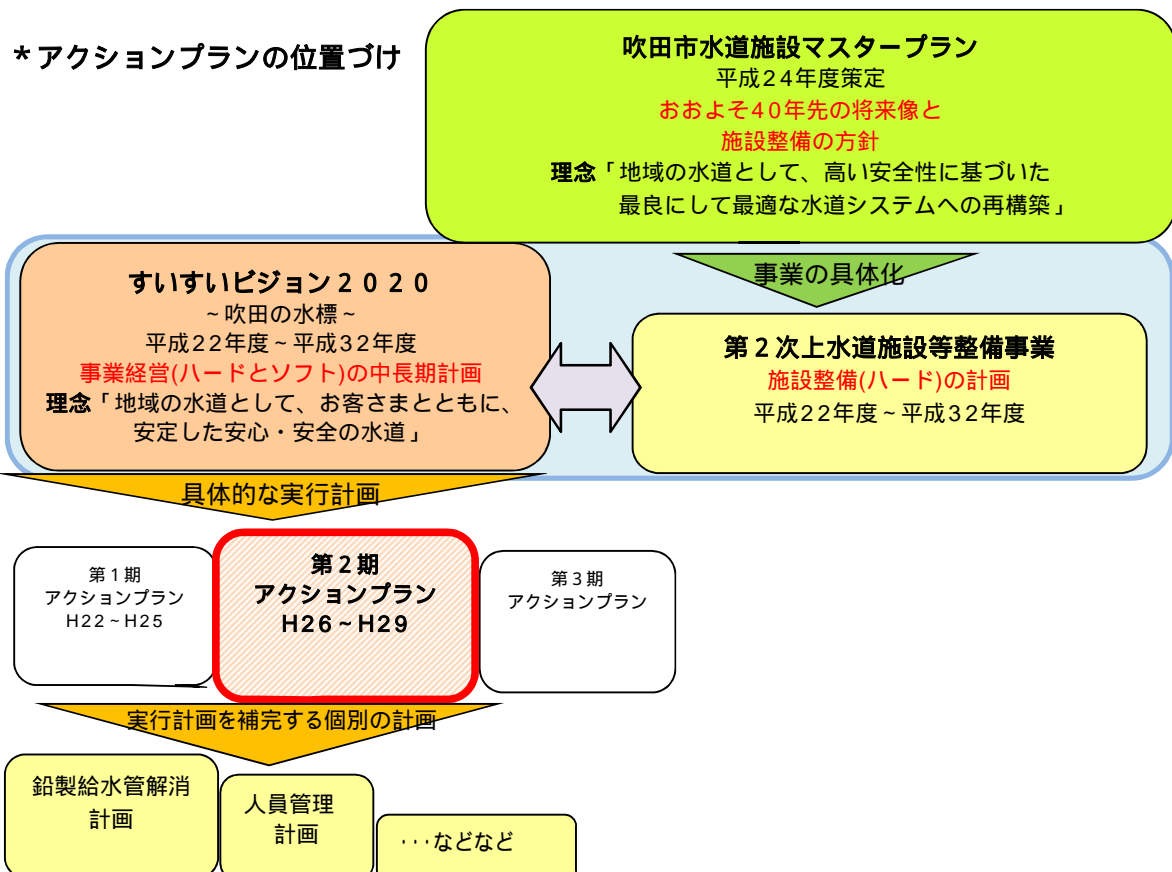
その間、水道事業を取り巻く環境の大きな変化も見られました。平成23年（2011年）3月に発生した東日本大震災では水道事業にも様々な教訓をもたらしました。平成23年4月から事業開始した大阪広域水道企業団では、大阪府内の42市町村が用水供給事業を共同で経営するなど、水道事業の広域化に向けて第1歩を踏み出しました。平成24年（2012年）12月に起きた中央自動車道笹子トンネルの天井崩落事故では老朽インフラの関心が一気に高まり、水道事業においては経年化した管路や施設への対応が大きな課題となってきました。また、平成25年(2013年)3月には厚生労働省より、水道を取り巻く環境の大きな変化に対応するために、それまでの「水道ビジョン」を全面的に見直した「新水道ビジョン」が公表されました。

本市独自の出来事としては、平成25年（2013年）3月に財団法人吹田市水道サービス公社が、その所期の設置目的を概ね達成したものととして解散しました。また、同年3月には、およそ40年先の吹田市水道施設の将来像を描いた「吹田市水道施設マスタープラン」を策定し、それに基づいた第2次上水道施設等整備事業の計画見直しを行っています。

このように4年間においても様々な出来事がありましたが、その都度、環境の変化に柔軟に対応しながら「第1期アクションプラン」を遂行しました。

「第1期アクションプラン」の計画期間を終え、管理指標に掲げる目標値を達成できなかった事業も一部あるものの、全体として概ね順調に進んだものと考えています。これまでの到達点をふまえて、取り巻く環境の変化や新たな課題を明確にして、次の実行計画として、ここに「第2期アクションプラン」（平成26年度(2014年度)～平成29年度(2017年度)）を策定するものです。

平成26年(2014年)9月



2. 事業項目

(1) 事業執行の体系 基本方針・施策・事業

基本理念	基本方針	施策	事業
地域の水道として、お客さまとともに、安定した安心・安全の水道	(1) 安全でおいしい水の供給	1) 水源から蛇口までの水質管理の向上	水安全計画の運用 信頼性の高い水質検査の継続とPR
		2) 鉛製給水管の早期解消	早期解消に向けた工事の推進 面的整備における解消工事 助成制度の継続
		3) 直結給水の推進と貯水槽水道の適正管理の啓発	直結給水の推進 貯水槽水道の適正管理の充実
	(2) 安定した水道システムの確立	1) 自己水源の確保と効率的な水運用	事業認可変更 地下水源の維持・増強 新たな地下水源の確保に向けた検討
		2) 浄配水施設の整備	施設の耐震化 片山浄水所浄水施設の更新等 泉浄水所浄水施設の維持管理等 配水場設備等の維持・更新 千里浄水池整備に伴う施設の共同化
		3) 計画的な管路整備の推進	基幹管路整備事業の実施 片山浄水所・泉浄水所連絡管整備 配水支管整備事業の実施 管路の維持管理の充実 マッピングシステムの活用
		4) 危機管理・対策の充実	災害時給水所等の整備 危機管理マニュアルの充実 災害応急給水等訓練の実施 災害時における資機材等の確保 BCP(事業継続計画)の策定・運用
	(3) お客さまへのサービスの充実	1) 料金にかかるお客さまサービスの充実	料金支払いや各種手続きの利便性の向上 集団住宅用の取扱いの検討・見直し
		2) 給水装置の維持管理にかかるお客さまサービスの充実	指定工事事業者の技術力向上のための指導・助言 給水相談の充実 水道事業を支える市内業者との連携
		3) 水道水質にかかるお客さまサービスの充実	蛇口から出る水道水の水質検査の充実 鉛製給水管にかかる水質検査の実施
	(4) お客さまとともに守りまわす「地域の水道」	1) お客さまとつながる情報開示・広報・広聴の充実	広報活動の充実 広聴活動の充実 出前授業・出前講座等の充実 大量使用者等への訪問・懇談
		2) 水道水を飲もう運動の展開	水道水への回帰
		3) パートナーシップによる事業の推進	お客さまとの協働の取組 お客さまとの連携を促進する組織体制づくり
	(5) 環境に配慮した事業の推進	1) 省エネルギー対策	環境に配慮した水運用 位置エネルギーの有効活用 環境負荷低減の取組
		2) 新エネルギーの活用	太陽光発電の活用
		3) 省資源の取組	効果的な漏水防止対策 廃棄物の抑制とリサイクルの推進
		4) 事業の推進方策	エコオフィスプランの運用 水環境保全のための啓発活動
	(6) 将来にわたり安定した経営基盤の構築	1) 経営基盤の強化と水道料金のあり方	健全経営の推進 現行水道料金の見直し 補助金等の国への制度要望と活用 未利用資産の活用
		2) 多面的な財源調達と資金運用の推進	企業債の利用 給水加入金と開発負担金の見直し 収納率の向上と債権管理 遠隔契約の見直しによる対応
		3) 効果的・効率的な業務執行と体制	料金業務の効率化 浄水運転監視業務の委託 施設工事の効率的な執行 管路工事の効率的な執行 事務処理の効率化 事業規模にふさわしい人員管理 働きやすい組織・体制づくり 広域化による事業の効率的な執行
		4) 人材育成と技術の継承	専門性を有する職員の育成

方針	1	安全でおいしい水の供給	主担当	水質課		
施策	1	水源から蛇口までの水質管理の向上	関連部署	浄水課、施設G、工務室		
事業	1	水安全計画の運用	推進体制	水安全計画運用委員会		
事業の目的・内容						
水安全計画を運用し、水源から給水栓までの一貫した管理のもと、安全な水道水の供給に努めます。						
管理指標			関連指標等			
水質基準不適合率(PI 1104) 水源の水質事故数(PI 2201) 幹線管路の事故割合(PI 2202)			事故時配水量率(PI 2203) 事故時給水人口率(PI 2204) お客様に影響のある、または恐れのある危害対応件数			
実績	実績	計画				目標
H 2 4 (2012)	H 2 5 (2013)	H 2 6 (2014)	H 2 7 (2015)	H 2 8 (2016)	H 2 9 (2017)	H 3 2 (2020)
運用	運用	運用 (水安全計画運用 実務手帳作成)		(水安全計画運用 実務手帳更新)		充実

方針	1	安全でおいしい水の供給	主担当	水質課		
施策	1	水源から蛇口までの水質管理の向上	関連部署			
事業	2	信頼性の高い水質検査の継続とPR	推進体制			
事業の目的・内容						
水道GLPの認定を維持し、より精度の高い水質検査体制を構築していくことで、お客さまから信頼される水質監視を実施します。また、検査結果や水質検査計画について、ホームページやすいどうにゆーず、イベントを通して、水道水の安全性のPRに努めます。						
管理指標			関連指標等			
管末における残留塩素濃度年間平均値 総トリハロメタン濃度目標値達成率 アンケートによる水道水の安全度			塩素臭から見たおいしい水達成率(PI1106) 総トリハロメタン濃度水質基準比(PI1107) 外部機関である公益社団法人日本水道協会による認定 更新及びサーベイランス(中間審査) 水質月例報告(ホームページ)			
実績	実績	計画				目標
H 2 4 (2012)	H 2 5 (2013)	H 2 6 (2014)	H 2 7 (2015)	H 2 8 (2016)	H 2 9 (2017)	H 3 2 (2020)
水道GLP 認定維持	サーベイランス (中間審査)	認定維持	水道GLP 更新	認定維持	サーベイランス (中間審査)	継続

方針	1	安全でおいしい水の供給	主担当	整備G		
施策	2	鉛製給水管の早期解消	関連部署	工務室・水質課・給水相談課		
事業	1	早期解消に向けた工事の推進	推進体制			
事業の目的・内容 方針 施策 事業 【1-2-2 関連】						
メーター1次側での鉛製給水管の早期解消を推進するための取組として、引き続き配水管工事や漏水修繕工事等に併せた解消とともに、地域ごとの面的整備における解消工事を計画的に進めます。						
管理指標			関連指標等			
鉛製給水管率(PI 1117)						
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
(解消件数) 2717件	3604件	2900件	2900件	2900件	2900件	

方針	1	安全でおいしい水の供給	主担当	整備G		
施策	2	鉛製給水管の早期解消	関連部署	工務室・給水相談課		
事業	2	面的整備における解消工事	<新> 推進体制			
事業の目的・内容 方針 施策 事業 【1-2-1 関連】						
メーター1次側での鉛製給水管の早期解消を推進するための中心的な取組として、対象地域を明確にした地域ごとの面的解消事業を計画的に進め、効率的で効果的な解消を進めます。						
管理指標			関連指標等			
			鉛製給水管率(PI 1117)			
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H31 (2019)
(解消件数) 1453件	2437件	1200件	1400件	1400件	1500件	事業完了

方針	1	安全でおいしい水の供給	主担当	給水相談課		
施策	2	鉛製給水管の早期解消	関連部署			
事業	3	助成制度の継続	推進体制			
事業の目的・内容						
鉛製給水管の早期解消を図る方策の一つとして、お客さまが自ら行う鉛製給水管の取替工事への助成制度の活用促進を図ります。						
管理指標			関連指標等			
			助成制度利用件数			
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
(制度利用) 3件 725,800円	2件 193,900円	10件 2,000,000円	10件 2,000,000円	10件 2,000,000円	10件 2,000,000円	-

方針	1	安全でおいしい水の供給	主担当	給水相談課		
施策	3	直結給水の推進と貯水槽水道の適正管理の啓発	関連部署	水質課		
事業	1	直結給水の推進	推進体制			
事業の目的・内容						
高度浄水処理した安全でおいしい水を蛇口まで直接届けるため、またエネルギーの有効利用にもつながることから、新築建物はもちろんのこと、既存建物についても、直結給水の利点をPRし、貯水槽水道からの切替えを推進します。						
管理指標			関連指標等			
直結給水率(PI 1115援用) $\left[\frac{\text{直結給水戸数}}{\text{直結給水戸数} + \text{受水槽給水戸数}} \right]$						
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
(直結給水率) 63.2%	64.3%	65.1%	65.9%	66.7%	67.5%	70%

方針	1	安全でおいしい水の供給	主担当	給水相談課		
施策	3	直結給水の推進と貯水槽水道の適正管理の啓発	関連部署	水質課、環境保全課		
事業	2	貯水槽水道の適正管理の充実	推進体制			
事業の目的・内容						
<p>小規模貯水槽(10m³以下)の点検については、1年間で一巡するよう、民間事業者に委託して調査点検を行うとともに、届出の指導、適正管理の啓発に努めます。 また、10m³超の貯水槽の管理等についても、環境保全課との連携を強めます。</p>						
管理指標			関連指標等			
貯水槽水道指導率						
実績	実績	計画				目標
H 2 4 (2012)	H 2 5 (2013)	H 2 6 (2014)	H 2 7 (2015)	H 2 8 (2016)	H 2 9 (2017)	H 3 2 (2020)
(点検件数) 1,179件	1,054件	1,140件	1,130件	1,120件	1,110件	-

方針	2	安定した水道システムの確立	主担当	計画G		
施策	1	自己水源の確保と効率的な水運用	関連部署	建設G・施設G・経営G		
事業	1	事業認可変更 <新>	推進体制			
事業の目的・内容						
片山浄水所更新に向けて、事業認可変更(浄水処理方法の変更及び取水地点の変更)を行います。						
管理指標			関連指標等			
実績	実績	計画				目標
H 2 4 (2012)	H 2 5 (2013)	H 2 6 (2014)	H 2 7 (2015)	H 2 8 (2016)	H 2 9 (2017)	H 3 2 (2020)
		水需要予測	変更認可 申請書作成・ 申請・認可取得			

方針	2	安定した水道システムの確立	主担当	施設G		
施策	1	自己水源の確保と効率的な水運用	関連部署	浄水課・計画G		
事業	2	地下水源の維持・増強	推進体制			
事業の目的・内容						
地下水源を引き続き確保するために、井戸の揚水量と水位変動の監視強化や浚渫・改良工事を実施するなど、適切な維持管理を行います。						
管理指標			関連指標等			
地下水源率						
実績	実績	計画				目標
H 2 4 (2012)	H 2 5 (2013)	H 2 6 (2014)	H 2 7 (2015)	H 2 8 (2016)	H 2 9 (2017)	H 3 2 (2020)
片山15号新設 片山10号・泉9号浚渫	浚渫・帯水層調査(泉2号、片山4・14号)、水位計・流量計設置(片山14号)、水源調査片山16号新設	・泉2号改良 ・浚渫(1か所) ・水位計・流量計設置(1か所)	・片山10号・14号改良 ・浚渫(3か所) ・水位計・流量計設置(2か所)	・片山4号改良 ・浚渫(3か所) ・水位計・流量計設置(2か所)	・浚渫(2か所) ・水位計・流量計設置(2か所)	継続

方針	2	安定した水道システムの確立	主担当	施設G		
施策	1	自己水源の確保と効率的な水運用	関連部署	浄水課、計画G		
事業	3	新たな地下水源の確保に向けた検討 <新>	推進体制			
事業の目的・内容						
水源調査を行うことで、市域南部の拠点となる片山浄水所では、敷地内外にとらわれず、井戸の新設・掘替え用地について幅広く検討します。また、片山浄水所以北地域についても、複数水源の確保という観点から、地下水源の開発が可能な場所を検討します。						
管理指標		関連指標等				
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
	データ収集 他市ヒアリング 水源調査	資料調査結果 取りまとめ	・井戸掘削候補 地の検討	・候補地における 揚水量の調査	・候補地における 揚水量の検討	継続

方針	2	安定した水道システムの確立	主担当	建設G		
施策	2	浄配水施設の整備	関連部署	計画G・浄水室		
事業	1	施設の耐震化	推進体制			
事業の目的・内容						
安定給水を図るための浄配水施設等の耐震補強(浄配水施設耐震化等改修工事)を実施します。						
管理指標		関連指標等				
配水池耐震施設率(PI2209)		浄水施設耐震率(PI2207) ポンプ所耐震施設率(PI2208)				
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
泉第1配水池 津雲第3配水池 (63.8%)	山田配水池 (63.8%)	津雲第2配水池 (84.9%)	(90.3%)	津雲配水場 場内管耐震化等 整備		

方針	2	安定した水道システムの確立	主担当	施設G		
施策	2	浄配水施設の整備	関連部署	建設G・浄水課・計画G		
事業	2	片山浄水所浄水施設の更新等	推進体制			
事業の目的・内容						
老朽化した現行の急速ろ過方式の浄水処理施設を、限られた敷地内で、コンパクトかつ安定した水処理が可能な膜処理方式へ変更することで、処理施設の抜本的な更新を行います。						
管理指標			関連指標等			
経年化施設率 (PI2102)			吹田更新基準 (41ページ参照)			
実績	実績	計画				目標
H 2 4 (2012)	H 2 5 (2013)	H 2 6 (2014)	H 2 7 (2015)	H 2 8 (2016)	H 2 9 (2017)	H 3 2 (2020)
・基本設計 ・現行施設維持管理工事	・実施設計			・処理施設更新工事		処理施設更新 (H31年度完成)

方針	2	安定した水道システムの確立	主担当	浄水課		
施策	2	浄配水施設の整備	関連部署	施設G		
事業	3	泉浄水所浄水施設の維持管理等	推進体制			
事業の目的・内容						
表流水及び地下水を引き続き活用するため、維持管理に必要な改良・更新・修繕工事を行います。						
管理指標			関連指標等			
経年化施設率 (PI2102)			水道施設維持管理指針 吹田更新基準 (41ページ参照)			
実績	実績	計画				目標
H 2 4 (2012)	H 2 5 (2013)	H 2 6 (2014)	H 2 7 (2015)	H 2 8 (2016)	H 2 9 (2017)	H 3 2 (2020)
薬注設備更新基本設計 計装設備工事 水処理設備改良工事 設備等オーバーホール	薬注設備更新実施設計 電気設備工事	薬注設備更新 水処理設備改良工事		電気設備工事	機械設備工事	継続

方針	2	安定した水道システムの確立	主担当	施設G		
施策	2	浄配水施設の整備	関連部署	浄水課		
事業	4	配水場設備等の維持・更新	推進体制			
事業の目的・内容						
経年劣化した配水場設備等について、吹田更新基準を基本として設備の改良・更新・修繕工事を実施します。						
管理指標			関連指標等			
経年化施設率(PI2102)			吹田更新基準(41ページ参照)			
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
電気設備工事 計装設備工事 機器台帳整備 設備等オーバーホール		計装設備工事		機械設備工事	電気設備工事	継続

方針	2	安定した水道システムの確立	主担当	計画G		
施策	2	浄配水施設の整備	関連部署	浄水室・経営室		
事業	5	千里浄水池整備に伴う施設の共同化 <新>	推進体制	千里浄水池整備WGメンバー		
事業の目的・内容						
<div style="float: right; text-align: right; font-size: small;"> 方針 施策 事業 【6-3-8 関連】 </div> 北部の拠点を整備する上で、大阪広域水道企業団千里浄水池の整備にあわせて、近隣市の配水池及びポンプ場を一体的に整備するという広域連携を進める中で、将来的な更新費用の低減と効率的な水運用を図ります。						
管理指標			関連指標等			
			配水池耐震施設率(PI2209) ポンプ所耐震施設率(PI2208)			
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
・(企)新1号池着工 ・一体整備課題の抽出(WG)	・一体整備具体の検討(WG)	・(企)新2号池(共同施設含む)修正基本設計	・(企)新1号池完成 ・(企)新2号池(共同施設含む)実施設計	・(企)新2号池(共同施設含む)着工(既設池取壊し)		・(企)新2号池(共同施設含む)完成(H32) ・全工事完成(H41)

方針	2	安定した水道システムの確立	主担当	建設G		
施策	3	計画的な管路整備の推進	関連部署	計画G		
事業	1	基幹管路整備事業の実施	推進体制			
事業の目的・内容						
基幹管路の耐震化を進めるために、送水管を中心とした更新・新設を行い平成32年度には基幹管路の耐震化率50%超えを目指します。						
管理指標			関連指標等			
基幹管路の耐震化率(PI2210を援用) 管路の耐震化率(PI2210) 重要給水施設管路耐震適合率(箇所比)			管路の新設率(PI2107) 幹線管路の事故割合(PI2202)			
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H26～H32 (2014)(2020)
更新・新設 2.8km	更新・新設 3.0km	更新・新設 1.5km	更新・新設 2.1km	更新・新設 1.9km	更新・新設 1.9km	更新・新設 14.7km

方針	2	安定した水道システムの確立	主担当	建設G		
施策	3	計画的な管路整備の推進	関連部署	計画G		
事業	2	片山浄水所・泉浄水所連絡管整備 <新>	推進体制			
事業の目的・内容						
本市の2つの浄水所の内、地震災害等で被害を受け一方の浄水所が水づくりをできない状況になった場合でも、他方がそれをバックアップできるように、片山浄水所と泉浄水所を結ぶ連絡管 1000mmの布設工事(シールド工法)を実施します。また、着実に進めるための詳細設計及び工事監理も実施します。						
管理指標			関連指標等			
			基幹管路の耐震化率(PI2210を援用) 管路の耐震化率(PI2210) 管路の新設率(PI2107) 幹線管路の事故割合(PI2202)			
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
基本設計	実施設計		予算措置	布設工事		工事完成

方針	2	安定した水道システムの確立	主担当	建設G		
施策	3	計画的な管路整備の推進	関連部署	計画G		
事業	3	配水支管整備事業の実施	推進体制			
事業の目的・内容						
<p>管路更新率向上にむけて、経年管更新の更なるペースアップを図り年間8kmのペースを基本として、引き続き印ろう継手鋳鉄管と漏水事故率の高いビニール管を重点的に解消します。 また、新設道路や老朽給水管が輻輳する道路等には配水支管を新設します。</p>						
管理指標		関連指標等				
経年化管路率(PI2103) 管路の更新率(PI2104) 重要給水施設管路耐震適合率(箇所比)		配水管延長密度(PI2007) 管路の事故割合(PI5103) 鋳鉄管路の事故割合(PI5104) 非鉄製管路の事故割合(PI5105) 重要給水施設基幹管路耐震化率(延長比) 重要給水施設基幹管路耐震適合率(延長比)				
実績	実績	計画				目標
H 2 4 (2012)	H 2 5 (2013)	H 2 6 (2014)	H 2 7 (2015)	H 2 8 (2016)	H 2 9 (2017)	H 2 6 ~ H 3 2 (2014) (2020)
更新 3.0km 新設 0.4km	更新 7.6km 新設 0.9km	更新 6.0km 新設 0.8km	更新 8.0km 新設 0.8km	更新 8.0km 新設 0.8km	更新 8.0km 新設 0.8km	更新 54.0km 新設 5.6km

方針	2	安定した水道システムの確立	主担当	管理G		
施策	3	計画的な管路整備の推進	関連部署			
事業	4	管路の維持管理の充実	推進体制			
事業の目的・内容						
<small>方針 施策 事業</small> [5 - 3 - 1 関連]						
<p>計画的に管路施設の点検調査を行い、その健全性を総合的に評価することで、日常の維持管理業務や計画的な更新、整備に反映させます。 より効果的で機動力のある道路漏水修繕のあり方を検討し見直しを進めます。</p>						
管理指標		関連指標等				
管路の事故割合(PI5103)		管路の点検率(PI 5111) 苦情(出水不良・濁水)				
実績	実績	計画				目標
H 2 4 (2012)	H 2 5 (2013)	H 2 6 (2014)	H 2 7 (2015)	H 2 8 (2016)	H 2 9 (2017)	H 3 2 (2020)
具体化 の検討	・維持管理業務 の洗い出し ・弁栓類管理シ ステム構築	データの収集・整理のルール化	統計分析・データベース化により情報の共有化	状態把握、診断・評価への活用	計画的な更新整備に活用	

方針	2	安定した水道システムの確立	主担当	管理G		
施策	3	計画的な管路整備の推進	関連部署	工務室		
事業	5	マッピングシステムの活用	推進体制	マッピング担当者会議		
事業の目的・内容						
<p>管路の維持管理やお客様への情報提供、管路計画作りに活用しているマッピングシステムを最大限に活用すると同時に、効果的・効率的なシステム更新を実施します。 (現行データ更新方法を生かしたシステム更新やデータ更新手法の確立を目指します)</p>						
管理指標			関連指標等			
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
現行システム データ更新・ 現行システム の課題抽出	現行システムの 課題検証	システム更新の 準備	システム更新	新システム データ更新		

方針	2	安定した水道システムの確立	主担当	総務G		
施策	4	危機管理・対策の充実	関連部署	工務室		
事業	1	災害時給水所等の整備	推進体制	危機管理対策委員会		
事業の目的・内容						
<p>市内のどこからでも概ね2km以内の距離にある災害時給水拠点に加え、概ね1km以内の距離で応急給水が可能となる災害時給水所を整備するため、小学校12校に、可搬式浄水装置もしくは仮設貯水槽を配備していきます。</p>						
			関連指標等			
給水拠点密度(PI 2205)			可搬ポリタンク・ポリパックの保有度(PI 2214)			
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
検討	可搬式浄水装置等の 配備要領の制定	・可搬式浄水装置、 仮設貯水槽配備 ・耐震性貯水槽 設置	・耐震性貯水槽 運用開始			

方針	2	安定した水道システムの確立	主担当	総務G		
施策	4	危機管理・対策の充実	関連部署	各室課		
事業	2	危機管理マニュアルの充実	推進体制	危機管理対策委員会		
事業の目的・内容						
被害想定の見直しや状況の変化、様々な具体的な訓練等の結果を踏まえ、継続して内容を検証しマニュアルの充実を図ります。						
管理指標			関連指標等			
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
マニュアル の見直し	マニュアルの 見直し	・マニュアルの見直し (地震)	・マニュアルの見直し (水質汚染事故)	・マニュアルの見直し (施設事故・停電対策)	・マニュアルの見直し (管路事故・湯水)	

方針	2	安定した水道システムの確立	主担当	総務G		
施策	4	危機管理・対策の充実	関連部署	各室課		
事業	3	災害応急給水等訓練の実施	推進体制	危機管理対策委員会		
事業の目的・内容						
単独での訓練実施や他団体との合同訓練への参加など、様々な具体的な訓練を通じて、災害対応能力の向上を目指します。						
管理指標			関連指標等			
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
訓練の充実 13回	訓練の充実 8回	訓練計画の 策定	訓練の実施 見直し			

方針	2	安定した水道システムの確立	主担当	総務G		
施策	4	危機管理・対策の充実	関連部署	各室課		
事業	4	災害時における資機材等の確保 <新>	推進体制	危機管理対策委員会		
事業の目的・内容						
災害時に速やかな応急給水や復旧活動等が可能になるよう、応急給水用資機材や復旧用資機材等の備蓄の充実を図ります。また、資機材等の分散備蓄を実施する等、適正な在庫管理を図ります。						
管理指標			関連指標等			
実績	実績	計画				目標
H 2 4 (2012)	H 2 5 (2013)	H 2 6 (2014)	H 2 7 (2015)	H 2 8 (2016)	H 2 9 (2017)	H 3 2 (2020)
非常用飲料水・ 非常用袋等の 分散備蓄	各室の災害用備 蓄品等の確認	保有量目標 の見直し	充実 維持管理			

方針	2	安定した水道システムの確立	主担当	総務G		
施策	4	危機管理・対策の充実	関連部署	各室課		
事業	5	BCP(事業継続計画)の策定・運用 <新>	推進体制	危機管理対策委員会		
事業の目的・内容						
被害想定を明確にする中で、災害時においても確実な事業継続が行えるようBCP(事業継続計画)を策定し、教育、訓練を通じて常に見直しを行い、より実効性のある計画として運用します。						
管理指標			関連指標等			
実績	実績	計画				目標
H 2 4 (2012)	H 2 5 (2013)	H 2 6 (2014)	H 2 7 (2015)	H 2 8 (2016)	H 2 9 (2017)	H 3 2 (2020)
	BCPの作成 (地震)	BCPの作成 (新型インフルエンザ)	BCPの運用・ 教育・充実等			

方針	3	お客さまへのサービスの充実	主担当	料金課		
施策	1	料金にかかるお客さまサービスの充実	関連部署			
事業	1	料金支払いや各種手続きの利便性の向上	推進体制			
事業の目的・内容						
他市の動向を調査し、検針及び請求方法(毎月検針・毎月請求、隔月検針・毎月請求など)、利便性の高い支払い方法、ホームページを利用した閉開栓受付、ワンストップサービスなどについて、費用対効果をふまえて検討を行います。						
管理指標			関連指標等			
			お客さま満足度			
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
調査	調査	調査、サービスの 絞り込み	検討	実施		

方針	3	お客さまへのサービスの充実	主担当	料金課		
施策	1	料金にかかるお客さまサービスの充実	関連部署	経営G、給水相談課		
事業	2	集団住宅用の取扱いの検討・見直し <新>	推進体制			
事業の目的・内容						
料金体系のあり方検討にあわせて、集団住宅用用途の取扱いについて調査、検討し、見直しを図ります。						
管理指標			関連指標等			
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
	経営室、給水 相談課と協議	他市調査	問題点の検討	検討結果の 反映・実施		

方針	3	お客さまへのサービスの充実	主担当	給水相談課		
施策	2	給水装置の維持管理にかかるお客さまサービスの充実	関連部署			
事業	1	指定工事業業者の技術力向上のための指導・助言	推進体制			
事業の目的・内容						
指定工事店の技術力向上のため、講習・研修を行うとともに、適宜指導・助言を行います。適正な配管等の知識の充実を図り、安心安全な水道工事が実施されるよう、給水装置工事業業者を通しての信頼確保に努めます。						
管理指標		関連指標等				
		研修会等への出席率 給水装置工事施行基準				
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
窓口において、適正な設計・工事を指導	窓口において、適正な設計・工事を指導	北大阪合同研修会開催	給水装置工事施工基準改訂 吹田市での説明会開催	窓口において、適正な設計・工事を指導	北大阪合同研修会開催	-

方針	3	お客さまへのサービスの充実	主担当	給水相談課		
施策	2	給水装置の維持管理にかかるお客さまサービスの充実	関連部署			
事業	2	給水相談の充実	推進体制			
事業の目的・内容						
お客さまからの様々な問合せの内容や対応を整理分析し、それに沿った相談業務や迅速な現場対応など充実を図ります。						
管理指標		関連指標等				
		給水相談件数 お客さま満足度				
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
相談内容の分析と対応 6,516件	6,924件	お客さま満足度の向上				-

方針	3	お客さまへのサービスの充実	主担当	給水相談課		
施策	2	給水装置の維持管理にかかるお客さまサービスの充実	関連部署	工務室・経営G・経理G		
事業	3	水道事業を支える市内業者との連携 <新>	推進体制			
事業の目的・内容						
水道事業の安定的な持続のため、市内水道工事業者の育成や連携を図ります。						
管理指標		関連指標等				
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
・市内水道工事 関連団体と懇談 ・市内水道工事 関連団体への研修	・市内水道工事 関連団体と懇談 ・市内水道工事 関連団体への研修					

方針	3	お客さまへのサービスの充実	主担当	水質課		
施策	3	水道水質にかかるお客さまサービスの充実	関連部署	総務G		
事業	1	蛇口から出る水道水の水質検査の充実	推進体制			
事業の目的・内容						
お客さまが安心して使用できるよう水道水質検査の充実を図り、水質年次報告書やイベント等でPRに努めます。						
管理指標		関連指標等				
		お客さまからの請求等に伴う水質検査件数				
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
水質検査 充実(相談 122件、検査 64件)	水質検査 充実	水質検査・PR 充実				-

方針	3	お客さまへのサービスの充実	主担当	水質課		
施策	3	水道水質にかかるお客さまサービスの充実	関連部署	給水相談課・整備G		
事業	2	鉛製給水管にかかる水質検査の実施	推進体制			
事業の目的・内容				方針 施策 事業 【1 - 2 - 2 関連】		
引き続き鉛製給水管の面的整備を進めるなかで、要望のあるご家庭に出向き、水質検査を実施します。						
管理指標		関連指標等				
		鉛及びその化合物の水質検査件数				
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
(水質検査) 実施 (17件)	(9件)					実施

方針	4	お客さまとともに守りはぐくむ「地域の水道」	主担当	総務G		
施策	1	お客さまとつながる情報開示・広報・広聴の充実	関連部署			
事業	1	広報活動の充実	推進体制	広報委員会		
事業の目的・内容						
水道部の取組みや課題等、お客さまのニーズに沿った情報の発信を 広報誌すいどうにゆーす及び市報すいた、水道フェア等のイベント、ホームページ等を通じて積極的に実施します。						
管理指標		関連指標等				
水道施設見学者割合 (PI 3204) 水道事業に係る情報の提供度(PI 3201)						
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
広報誌 2回 イベント 5回 (主催3回、参加1回、共催1回) 更新回数20回	広報誌 2回 イベント 3回 (主催2回、共催1回) 更新回数20回 部長ブログでイベント紹介	充実				給水開始90周年事業

方針	4	お客さまとともに守りはぐくむ「地域の水道」	主担当	総務G		
施策	1	お客さまとつながる情報開示・広報・広聴の充実	関連部署			
事業	2	広聴活動の充実	推進体制	広報委員会		
事業の目的・内容						
水道モニター制度の活用や充実、アンケートの実施等、広聴の充実を図ります。アンケート結果の経年変化の状況などの分析を行い事業推進に反映します。						
管理指標		関連指標等				
アンケート情報収集割合(PI 3203)		アンケート結果の経年変化をみる項目				
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
4期水道モニター アンケート 15回 1,438枚	5期水道モニター アンケートキャ ラバン		6期水道モニター アンケート活動 充実		7期水道モニター	

方針	4	お客さまとともに守りはぐくむ「地域の水道」	主担当	総務G		
施策	1	水道水を飲もう運動の展開	関連部署	経営G・工務室・浄水室		
事業	3	出前授業・出前講座等の充実	推進体制	広報委員会		
事業の目的・内容						
<p>小学校への出前授業を実施し、水の大切さ、水道水のおいしさや安全性について伝えます。また、中・高・大学を含め、ご要望にきめ細かく対応した出前講座を実施します。</p>						
管理指標		関連指標等				
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
出前授業 10校 出前講座 大学1回	出前授業 10校 出前講座 高校1回、 大学2回	充実				

方針	4	お客さまとともに守りはぐくむ「地域の水道」	主担当	経営G		
施策	1	お客さまとつながる情報開示・広報・広聴の充実	関連部署			
事業	4	大量使用者等への訪問・懇談 <新>	推進体制			
事業の目的・内容						
<p>事業経営の上で重要な位置にある大量使用のお客さまへの定期的な訪問により積極的に懇談の場を持ち、情報交換・意見交換などを行い水道事業への協力や理解を求めています。</p>						
管理指標		関連指標等				
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
	10社訪問		意向調査			

方針	4	お客さまとともに守りはぐくむ「地域の水道」	主担当	総務G		
施策	2	水道水を飲もう運動の展開	関連部署	各室課		
事業	1	水道水への回帰	推進体制	広報委員会		
事業の目的・内容						
<p>じゃ口から水道水を飲む文化を子ども達に広めていくため、工夫を凝らした啓発用品を制作し、イベントや浄水所見学会等で配布します。また、あらゆる機会をとらえて水道水の試飲を積極的に実施するなど、水道水のおいしさを伝えていきます。</p>						
管理指標		関連指標等				
直接飲用率						
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
・コップ作成と 一年生へ配布 ・蛍光ペン作成	・クリアファイル作成					

方針	4	お客さまとともに守りはぐくむ「地域の水道」	主担当	総務G		
施策	3	パートナーシップによる事業の推進	関連部署	各室課		
事業	1	お客さまとの協働の取組	推進体制	広報委員会		
事業の目的・内容						
<p>水道部が地域での防災訓練に参加したり、水道部が行うイベント等へ自治会や地元企業、児童・学生等に参加いただくことで、お客さまとの協働の取組を積極的に進めます。</p>						
管理指標		関連指標等				
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
・訓練 9回 ・ツツジ一般公開 で小学校・幼稚園 と協働	・訓練 4回 ・水道フェアで地域 自治会と協働	充実				

方針	4	お客さまとともに守りはぐくむ「地域の水道」	主担当	総務G		
施策	3	パートナーシップによる事業の推進	関連部署	各室課		
事業	2	お客さまとの連携を促進する組織体制づくり	推進体制	広報委員会		
事業の目的・内容						
<p>お客さまとともに地域の水道を守りはぐくむためには、お客さまのご理解を得たり、また、ご要望をつかむことが重要と考えます。イベント等の企画や積極的な参加を通じて、直接お客様と触れ合いながら、親しみやすく信頼していただける組織体制づくりをめざします。</p>						
管理指標			関連指標等			
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
ツツジ・水道フェア・水循環フェアを実行委員会で開催	水道フェア・水循環フェアを実行委員会で開催	実施				

方針	5	環境に配慮した事業の推進	主担当	浄水室		
施策	1	省エネルギー対策	関連部署	施設G、浄水課		
事業	1	環境に配慮した水運用	推進体制	浄水室省エネ検討委員会		
事業の目的・内容						
送配水方法の最適化や機器更新時に電気容量の見直しを行うことで、施設の総電力使用量の削減と、CO2排出量の削減を図ります。 平成25年度実績は大きな削減となっていますが、施設の老朽化等に伴う故障・トラブルの影響により水処理量が大きく減少したことによるものです。						
管理指標			関連指標等			
総電力使用量 総二酸化炭素(CO ₂)排出量 配水量1m ³ 当り電力消費量(PI4001)			吹田市第2次環境基本計画 エコオフィスプラン 配水量1m ³ 当たり二酸化炭素(CO ₂)排出量(PI4006) 配水量1m ³ 当たり消費エネルギー(PI4002)			
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
CO ₂ 排出量 4.2% (H20年度比)	CO ₂ 排出量 7.8% (H20年度比)	CO ₂ 排出量 6.0% (H20年度比)	CO ₂ 排出量 7.0% (H20年度比)	CO ₂ 排出量 8.0% (H20年度比)	CO ₂ 排出量 9.0% (H20年度比)	CO ₂ 排出量 12% (H20年度比)

方針	5	環境に配慮した事業の推進	主担当	工務室		
施策	1	省エネルギー対策	関連部署	浄水室		
事業	2	位置エネルギーの有効活用 <新>	推進体制			
事業の目的・内容						
環境負荷低減及び危機管理の面から、浄配水施設の再構築と再配置及び給水区域の見直しにより、高地にある配水池からポンプを使わずに自然流下で配水方式をさらに進めます。あわせて、電力消費量の削減を図ります。						
管理指標			関連指標等			
			自然流下給水人口率 (自然流下区域の給水人口/総給水人口)			
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
	山田高区を圧送から自然流下(万博直送)に切替	自然流下へ切替可能な圧送区域の抽出とシミュレーション	切替に必要な工事・作業の実施			

方針	5	環境に配慮した事業の推進	主担当	総務G		
施策	1	省エネルギー対策	関連部署	各室課		
事業	3	環境負荷低減の取組	<新> 推進体制			
事業の目的・内容						
省エネルギー、 ヒートアイランド対策、 緑化の推進等の環境負荷低減に引き続き取り組み、新たな方策も検討します。						
管理指標		関連指標等				
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
緑のカーテン 実施 緑化樹配付事 業による植栽実 施	緑のカーテン 実施 緑化樹配付事 業の利用	庁舎屋外灯LE D導入 及び の継続 実施。新たな方 策の検討				

方針	5	環境に配慮した事業の推進	主担当	浄水室		
施策	2	新エネルギーの活用	関連部署	施設G、建設G、浄水課		
事業	1	太陽光発電の活用	推進体制			
事業の目的・内容						
片山浄水所の処理施設更新工事にあわせて、新設する処理施設の屋上などに太陽光発電設備を設置します。また、その他再生可能エネルギーについても調査・研究します。						
管理指標		関連指標等				
		再生可能エネルギー利用率(PI4003)				
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
	片山処理施設 更新工事実施設計 (太陽光発電)	片山太陽光発電 実施設計	調査・検討		片山 太陽光発電 工事(H32まで)	

方針	5	環境に配慮した事業の推進	主担当	管理G		
施策	3	省資源の取り組み	関連部署			
事業	1	効果的な漏水防止対策	推進体制			
事業の目的・内容						
方針 施策 事業 [2 - 3 - 4 関連]						
地上・地下漏水のデータを継続して分析しながら、日常的な維持管理業務に関連させた漏水調査を実施するとともに、管路整備計画へ活用していきます。また、損失水量の低減を図るため維持管理業務の執行に努めます。						
管理指標			関連指標等			
有収率(PI3018)						
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
	漏水調査結果 のデータ分析	・漏水の分析 維持管理の推進 ・管路整備計画 への活用				

方針	5	環境に配慮した事業の推進	主担当	総務G		
施策	3	省資源の取り組み	関連部署	工務室・浄水室		
事業	2	廃棄物の抑制とリサイクルの推進	推進体制			
事業の目的・内容						
イベント等で発生するごみは徹底した分別による減量化を図り、建設副産物については、さらにリサイクル管理を徹底します。浄水発生汚泥については、片山浄水所の処理施設の更新に合わせてリサイクル実施に向けた研究を図ります。						
管理指標			関連指標等			
			浄水発生土の有効利用率(PI4004) 建設副産物のリサイクル率(PI4005)			
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
・リサイクル推進		・排出量管理 ・リサイクル推進・ 管理				

方針	5	環境に配慮した事業の推進	主担当	総務G		
施策	4	事業の推進方策	関連部署	各室課		
事業	1	エコオフィスプランの運用 <新>	推進体制			
事業の目的・内容						
市全体の取組としてのエコオフィスプランの中で環境に配慮した事業活動を展開します。						
管理指標			関連指標等			
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
・運用 ・研修実施		各室での重点項目の設定 推進計画の策定	計画の進行管理			

方針	5	環境に配慮した事業の推進	主担当	総務G		
施策	4	事業の推進方策	関連部署	各室課		
事業	2	水環境保全のための啓発活動 <新>	推進体制			
事業の目的・内容						
出前授業等での啓発活動だけでなく、水源見学バスの旅で水源地域の方々と相互理解を深めたり、水源保全活動を実体験するなど水環境保全のための啓発活動を進めます。平成26年度に施行された水循環基本法の今後の動きにも注視しながら、さらなる啓発活動に取り組みます。						
管理指標			関連指標等			
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
環境教育フェア 水循環フェアへの参加	水循環フェアへの参加	水源見学バスの旅実施	充実			

方針	6	将来にわたり安定した経営基盤の構築	主担当	経営G		
施策	1	経営基盤の強化と水道料金のあり方	関連部署			
事業	1	健全経営の推進	<新> 推進体制			
事業の目的・内容						
将来にわたり健全経営を図るため、アクションプランの着実な推進をはじめ、アクションプランに掲げる管理指標や水道事業経営指標、水道事業ガイドラインに掲げる指標(PI)などを用いて、経営状況を常に分析しながら最適な経営環境をつくり、また分かりやすい公表に努めます。						
管理指標		関連指標等				
		資金不足率(資金残高)				
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
	・第2期アクションプランの策定 ・地方公営企業会計基準見直しに伴う経営分析	・第2期アクションプランの公表 ・地方公営企業会計基準見直しに伴う経営分析の公表	・第2期アクションプランの進捗状況はじめ経営分析の公表		・第3期アクションプランの策定	

方針	6	将来にわたり安定した経営基盤の構築	主担当	経営G		
施策	1	経営基盤の強化と水道料金のあり方	関連部署	料金課		
事業	2	現行水道料金の見直し	推進体制	水道料金制度等検討委員会		
事業の目的・内容						
水道事業経営審議会では、水需要と給水収益が減少し今後も減少傾向が続くと予想される中、老朽化した水道施設や管路の再構築に多額な費用がかかり、また、現在の用途別逦増制料金体系では必ずしも現状の水需要の変化に対応しているものとはなっていないことから、水道料金の見直しの必要性が検討されました。同審議会からの答申に基づき必要な措置を講じていきます。						
管理指標		関連指標等				
給水原価(PI3015) 経常収支比率(PI3002)		1カ月当たり家庭用料金(10m ³)(PI3016) 1カ月当たり家庭用料金(20m ³)(PI3017)				
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
	「今後の水道事業と料金のあり方」について水道事業経営審議会に諮問	「今後の水道事業と料金のあり方」について水道事業経営審議会より答申	答申に基づく検討	検討結果の反映		

方針	6	将来にわたり安定した経営基盤の構築	主担当	経営G		
施策	2	多面的な財源調達と資金運用の推進	関連部署	計画G・建設G・浄水室・経理G		
事業	1	補助金等の国への制度要望と活用	推進体制			
事業の目的・内容						
老朽管対策、基幹管路の更新、施設の耐震補強、現在の制度の中では対象になるものはありませんが、国に採択基準の緩和等もっと活用できるように要望を行うとともに、環境対策にかかる補助金等の活用については、新たな制度等を注視しながら積極的に検討します。また、管の材質、付属部品類などについて、耐用年数に影響する要因に関する技術的な調査・研究を行い、法定耐用年数の適正化を図ってもらうよう要望します。						
管理指標		関連指標等				
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
1,462万円 (老朽管更新)	5,163万円 (老朽管更新) 1億3,611万円 (元金交付金による繰入)	・要望活動 ・補助金の検討	・補助金活用・追求			

方針	6	将来にわたり安定した経営基盤の構築	主担当	経理G		
施策	2	多面的な財源調達と資金運用の推進	関連部署	経営G		
事業	2	未利用資産の活用	推進体制			
事業の目的・内容						
未利用資産の 売却や 活用を行い、財源確保の一助とします。 (売却予定未利用地 旧金田ポンプ場用地、旧王子給水塔用地)						
管理指標		関連指標等				
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
・旧千里山浄水所用地活用 ・阪急山田駅東用地活用		・旧金田ポンプ場用地の一部売却	適時	適時	適時	

方針	6	将来にわたり安定した経営基盤の構築	主担当	経営G		
施策	2	多面的な財源調達と資金運用の推進	関連部署	経理G		
事業	3	企業債の利用	推進体制			
事業の目的・内容						
<p>管路整備事業・浄配水施設整備事業の計画的推進を図るため、安定的な財源確保と将来世代への負担の程度を勘案して、建設改良工事費の4割を目途に企業債の活用を図ります。</p>						
管理指標		関連指標等				
給水収益に対する企業債残高の割合 (PI 3012)		給水収益に対する企業債利息の割合(PI 3009) 給水収益に対する償還金の割合(PI 3011) 自己資本構成比率(PI 3023) 企業債償還元金対減価償却比率(PI 3025)				
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
5億7,000 万円	4億円	7億円	9億円	17億円	17億円	

方針	6	将来にわたり安定した経営基盤の構築	主担当	経営G		
施策	2	多面的な財源調達と資金運用の推進	関連部署	給水相談課		
事業	4	給水加入金と開発負担金の見直し	推進体制			
事業の目的・内容						
<p>水道事業経営審議会では、貴重な財源である給水加入金及び開発負担金について引き続き受益者に応分の負担を求める必要性が示されており、答申に基づき徴収根拠の整理や世代間の負担の公平性にも留意し必要な措置を講じていきます。</p>						
管理指標		関連指標等				
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
検討	料金のあり方とあわせて検討(経営審議会への諮問)	経営審議会からの答申	答申に基づく検討	検討結果の反映		

方針	6	将来にわたり安定した経営基盤の構築	主担当	料金課		
施策	2	多面的な財源調達と資金運用の推進	関連部署			
事業	5	収納率の向上と債権管理 <新>	推進体制	水道部債権管理検討委員会 料金課債権管理検討委員会		
事業の目的・内容						
<p>収納率の向上方策及び滞納者への法的手続き等を行い、債権の回収に努めるとともに、債権管理条例に基づいて適正な処理を行います。</p>						
管理指標		関連指標等				
		収納率				
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
	<ul style="list-style-type: none"> ・債権の精査及び仕分け ・法的手続きの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・収納率向上方策検討 ・法的手続き実施 ・システム一部改修 	<ul style="list-style-type: none"> ・収納率向上方策実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・システム更新に伴う収納率向上方策と債権管理の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・システム更新に伴う収納率向上方策と債権管理の実施 	

方針	6	将来にわたり安定した経営基盤の構築	主担当	料金課		
施策	2	多面的な財源調達と資金運用の推進	関連部署			
事業	6	遠隔契約の見直しによる対応	推進体制			
事業の目的・内容						
<p>遠隔契約ではオーナー等の遠隔契約者は水道使用者との連帯債務者となります。この契約者の負担軽減と収納率の向上を目的として、契約者からの依頼により、滞納者に対して水道部での料金回収を図ります。</p>						
管理指標		関連指標等				
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
検討	<ul style="list-style-type: none"> ・制度設計 	<ul style="list-style-type: none"> ・制度発足 ・実施・検証 				

方針	6	将来にわたり安定した経営基盤の構築	主担当	料金課		
施策	3	効果的・効率的な業務執行と体制	関連部署			
事業	1	料金業務の効率化	推進体制	料金業務検討委員会		
事業の目的・内容						
検針業務と滞納業務の包括的委託や水道料金システム更新等の検討を行い、料金業務の一層の効率化を図ります。						
管理指標		関連指標等				
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
滞納整理業務委託実施	閉栓検針業務委託検討	検針業務と滞納整理業務の包括的委託の検討	検針業務と滞納整理業務の包括的委託の実施	システム更新に伴う事務の効率化についての検討	システム更新予定	

方針	6	将来にわたり安定した経営基盤の構築	主担当	浄水課		
施策	3	効果的・効率的な業務執行と体制	関連部署	施設G・水質課		
事業	2	浄水運転監視業務の委託	推進体制	浄配水施設等運転管理業務検討会議		
事業の目的・内容						
浄配水施設(夜間)運転管理業務委託の実施にあたり、昼間に市内水道施設の巡回業務を追加することで、設備の故障発生時等、緊急時の初期対応が迅速に行えるよう、委託内容の一部を見直します。						
管理指標		関連指標等				
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
夜間業務委託		更新(仕様変更)		(次期委託検討)	更新(仕様変更)	

方針	6	将来にわたり安定した経営基盤の構築	主担当	施設G		
施策	3	効果的・効率的な業務執行と体制	関連部署	浄水課、建設G		
事業	3	施設工事の効率的な執行	推進体制			
事業の目的・内容						
老朽化した浄配水施設の改良・更新工事の実施にあたり、設計コンサルタント業者等を活用することで、設計・施工管理の効率化を図ります。						
管理指標		関連指標等				
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
泉浄水所薬品注入設備更新基本設計業務 片山浄水所処理施設再構築基本設計業務	泉浄水所薬品注入設備更新実施設計業務 片山浄水所処理施設更新工事実施設計業務	・設計委託 ・工事監理委託				

方針	6	将来にわたり安定した経営基盤の構築	主担当	建設G		
施策	3	効果的・効率的な業務執行と体制	関連部署	工務室		
事業	4	管路工事の効率的な執行	推進体制			
事業の目的・内容						
基幹管路の耐震化、経年管の更新等さらなる管路整備を進めるために、管路工事の早期発注のための設計委託をはじめ、給配水管の分離発注による経年配水管更新延長の進捗と効率的で計画的な給水切替工事の執行などの手法を実施していきます。						
管理指標		関連指標等				
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
設計業務委託		効率化手法の検討・一部実施	検証	実施		

方針	6	将来にわたり安定した経営基盤の構築	主担当	経営G		
施策	3	効果的・効率的な業務執行と体制	関連部署	各室課		
事業	5	事務処理の効率化	推進体制	情報システム委員会		
事業の目的・内容						
情報の更なる共有化・効率化を進めるために、OA機器の配備・再配等必要な計画を立案、実施します。また、全ての業務において、常に広域的な視野での連携や小さな事務改善までを意識しながら、事務処理の効率化を目指します。						
管理指標		関連指標等				
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
実施	情報収集・検討、事務なびPC更新実施	検討・実施				

方針	6	将来にわたり安定した経営基盤の構築	主担当	経営G		
施策	3	効果的・効率的な業務執行と体制	関連部署	人事G・各室課		
事業	6	事業規模にふさわしい人員管理	推進体制			
事業の目的・内容						
これまで事業の効率化を図りながら人員の削減に努めてきました。引き続き効率化を図ることは前提としつつも、継続的に事業を遂行するため、更新事業の増大などに対応できる適正な職員体制を構築します。(職員・再任用職員・非常勤職員の人的パワーを総合的に活用します。)						
管理指標		関連指標等				
職員一人当たり有収水量 職員一人当たり給水収益(PI 3007) 給水収益に対する職員給与費の割合 (PI 3008)						
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30.4.1 (2018)
職員136名 非常勤20名	職員132名 非常勤20名	職員129名 非常勤20名				職員138名 非常勤17名

職員数には正職員と再任用職員を含んでいます。

方針	6	将来にわたり安定した経営基盤の構築	主担当	経営G		
施策	3	効果的・効率的な業務執行と体制	関連部署	人事G・各室課		
事業	7	働きやすい組織・体制づくり	推進体制			
事業の目的・内容				方針 施策 事業 【6-3-1~5 関連】		
多岐にわたる課題への対応、技術の継承、職員のモチベーション向上などを図るため、ヒアリング等を通してグループ体制、組織、機構の課題等の検証を行い、効果的・効率的で計画的に事業執行できる働きやすい組織・体制づくりに反映します。						
管理指標		関連指標等				
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
検証	工務室においてグループ編成の見直し	・管理職へのヒアリングの実施 ・検証結果等の反映				

方針	6	将来にわたり安定した経営基盤の構築	主担当	経営G		
施策	3	効果的・効率的な業務執行と体制	関連部署	各室課		
事業	8	広域化による事業の効率的な執行	推進体制			
事業の目的・内容				方針 施策 事業 【2-2-5 関連】		
大阪広域水道企業団北部事業所での千里ワーキンググループ(WG) や災害対策WGでの検討・成果を始めとした、広域連携による事業の効率的執行を追求します。						
管理指標		関連指標等				
実績	実績	計画				目標
H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)
千里WGの協議 共同防災訓練		共同施設建設覚書 共同防災訓練充実 広域連携の検討	実施設計			

方針	6	将来にわたり安定した経営基盤の構築	主担当	人事G		
施策	4	人材育成と技術の継承	関連部署			
事業	1	専門性を有する職員の育成	推進体制			
事業の目的・内容						
技術力の維持向上と強固な組織力の継続を図るため、研修、他団体との人事交流、マニュアル作成、資格取得支援等により専門性を有する職員の育成を図ります。						
管理指標		関連指標等				
職員資格取得度 (PI 3101) 内部研修時間 (PI 3104)						
実績	実績	計画				目標
H 2 4 (2012)	H 2 5 (2013)	H 2 6 (2014)	H 2 7 (2015)	H 2 8 (2016)	H 2 9 (2017)	H 3 2 (2020)
内部研修時間 1,084時間 外部研修時間 551時間 他団体との人事交流	1,267時間 650時間	内部研修の充実	外部研修の充実・ 公的資格取得支援	内部研修(技術継 承)の充実	自己啓発支 援	専門性を有す る職員の育成

3.管理指標(第2期アクションプラン)

方針	施策	事業	項目	単位	1 優位性	2 P I	積算方法	基準年度 平成25年度 (2013年度)	目標年度 平成29年度 (2017年度)
----	----	----	----	----	----------	----------	------	----------------------------	----------------------------

(1)安全でおいしい水の供給

1	1	1	水質基準不適合率	%		1104	水質基準不適合回数/全検査回数×100	0.0	0.0
1	1	1	水源の水質事故数	件		2201	年間の水源水質事故数	0.0	0.0
1	1	2	管末における残留塩素濃度年間平均値 (法定:0.1以上 目標値:1以下 おいしい水の要件:0.4以下)	mg/L		-	残留塩素濃度年間平均値(10か所×12か月)	0.47	0.40
1	1	2	総トリハロメタン濃度目標値達成率 (水質基準値:0.1以下 吹田市目標値:0.02以下)	%		-	年間総トリハロメタン目標値達成回数/年間総トリハロメタン総測定回数(10か所×12か月)×100	93.3	100.0
1	1	2	アンケートに見る水道水の安心度	%		-	安心して利用の回答/アンケート回答件数×100	64.0	70.0
1	2	1	鉛製給水管率 3	%		1117を 援用	鉛製給水管使用件数/給水件数×100	16.1	8.0
1	3	1	直結給水率 3	%		1115を 援用	直結給水戸数/(直結給水戸数+受水槽給水戸数)×100	65.3	70.0
1	3	2	貯水槽水道指導率	%		5115	貯水槽水道指導件数/貯水槽水道総数×100	33.4	40.0

(2)安定した水道システムの確立

2	1	2	自己水比率	%		-	自己水量/総配水量×100	34.1	40.0
2	1	2	地下水源率	%		-	地下水量/総配水量×100	12.2	13.0
2	2	1	配水池耐震施設率	%		2209	耐震対策の施されている配水池容量/配水池総容量×100	63.8	90.0
2	2	4	経年化施設率	%		2102	経年化年数を越えている電気・機械設備数/電気・機械設備の総数×100	71.1	71.1
2	3	1	基幹管路の耐震化率	%		2210を 援用	耐震基幹管路延長/基幹管路総延長×100	35.0	42.5
2	3	1	管路の耐震化率	%		2210	耐震管延長/管路総延長×100	11.9	16.5
2	3	1	重要給水施設管路耐震化適合率(箇所比)	%		-	管路の耐震適合性を有する重要給水施設箇所数/重要給水施設箇所数	3.0	8.8
2	3	3	経年化管路率	%		2103	法定耐用年数を越えた管路延長/管路総延長×100	35.1	37.0
2	3	3	管路の更新率	%		2104	更新された管路延長/管路総延長×100	1.03	1.10
2	3	3	管路の事故割合	%		5103	管路の事故件数/管路総延長(100km)×100	6.3	5.0
2	4	1	給水拠点密度	箇所/100km ²		2205	配水池・緊急貯水槽数/給水区域面積×100	19.4	38.8

(3)お客さまへのサービスの充実

			お客さま満足度	%		-	満足しているの回答/アンケート回答総数×100	84.5	90.0
--	--	--	---------	---	--	---	-------------------------	------	------

(4) お客さまとともに守りはぐくむ「地域の水道」

4	1	1	水道施設見学者割合	人/1,000人	3204	見学者数/給水人口×1,000	10.5	12.0
4	1	1	水道事業に係る情報の提供度	部/件	3201	広報誌配布部数/給水件数	2.2	3.0
4	1	2	アンケート情報収集割合	人/1,000人	3203	アンケート回答人数/給水人口×1,000	6.09	7.00
4	2	1	直接飲用率	%	3112	(直接飲用回答数/直接飲用アンケート回答数)×100	50.1	68.0

(5) 環境に配慮した事業の推進

5	1	1	総電力使用量	千kWh	-	全施設の電力使用量	11,374	12,900
5	1	1	総二酸化炭素(CO ₂)排出量(平成20年度比)	%	-	全施設の総二酸化炭素(CO ₂)排出量	7.8	9.0
5	1	1	自己水量1m ³ 当たり電力消費量	kWh/m ³	4001を 援用	全施設の電力使用量/年間自己水量	0.79	0.80
5	3	1	有収率	%	3018	年間総有収水量/年間総配水量	96.1	96.0

(6) 将来にわたり安定した経営基盤の構築

6	1	2	給水原価	円/m ³	3015	(経常費用-(受託工事費+材料及び不用品売却原価+付帯事業費))/有収水量	141.2	151.4
6	1	2	営業収支比率	%	3001	営業収益/営業費用	104.3	100.0
6	2	3	給水収益に対する企業債残高の割合	%	3012	企業債残高/給水収益	159.0	217.5
6	3	6	職員1人当たり有収水量	m ³ /人	-	年間総有収水量/損益勘定所属職員数	411,887	415,260
6	3	6	職員1人当たり給水収益	千円/人	3007	給水収益/損益勘定所属職員数	56,054	56,500
6	3	6	給水収益に対する職員給与費の割合	%	3008	職員給与費/給水収益	20.2	22.5
6	4	1	職員資格取得度	件/人	3101	職員が取得している法定資格数/全職員数	1.61	1.8
6	4	1	内部研修時間	時間/人	3104	職員が内部研修を受けた時間・人数/全職員数	5.7	7.5

1 優位性「」は数値が高い方が望ましい場合、「」は数値が低い方が望ましい場合

2 PI=Performance Indicator

日本水道協会が平成17年1月に制定した水道事業ガイドラインに定められている137項目の業務指標

3 第1期アクションプランではPIに基づき年度当初の数値としていましたが、第2期アクションプランでは当該年度の実績を反映させるため年度末の数値としました。

4. 業務量の推計(第2期アクションプラン)

年 度 項 目	平成24年度 (2012年度) 実 績	平成25年度 (2013年度) 実績	平成26年度 (2014年度) 予 算	平成27年度 (2015年度) 推 計	平成28年度 (2016年度) 推 計	平成29年度 (2017年度) 推 計
給 水 人 口 (人)	356,328	359,508	361,600	362,000	362,100	362,100
給 水 戸 数 (戸)	159,401	161,671	162,600	163,060	163,550	163,990
総 配 水 量 (m ³)	42,191,900	41,989,859	41,720,000	41,630,000	41,300,000	41,090,000
自 己 水 源 (m ³)	16,879,938	14,323,578	16,093,780	15,389,620	15,993,880	16,147,960
地 下 水 (m ³)	6,818,887	5,131,011	5,692,660	5,377,960	5,359,360	5,303,560
表 流 水 (m ³)	10,061,051	9,192,567	10,401,120	10,011,660	10,634,520	10,844,400
依 存 水 源 (m ³)	25,311,962	27,666,281	25,626,220	26,240,380	25,306,120	24,942,040
企 業 団 水 (m ³)	24,979,273	27,407,612	25,325,380	25,939,540	25,005,280	24,641,200
そ の 他 (m ³)	332,689	258,669	300,840	300,840	300,840	300,840
一 日 平 均 配 水 量 (m ³)	115,594	115,041	114,301	113,743	113,151	112,575
総 有 収 水 量 (m ³)	40,516,229	40,364,930	40,050,000	39,960,000	39,650,000	39,450,000

5.財 政 推 計(第 2 期アクションプラン)

<収益的収支>

(単位:千円、税抜)

科目	旧会計基準	新会計基準			
	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
	決算	予算	推計	推計	推計
総 収 益	6,066,295	6,256,876	6,060,086	5,994,766	5,945,872
給 水 収 益	5,493,267	5,506,875	5,398,596	5,336,890	5,290,245
加 入 金	208,230	156,500	156,500	156,500	156,500
長 期 前 受 金 戻 入	-	204,737	198,672	195,058	192,809
そ の 他 の 経 常 収 入	288,055	332,818	306,318	306,318	306,318
特 別 利 益	76,743	55,946	0	0	0
総 費 用	5,748,182	6,654,139	5,935,446	5,945,253	5,953,506
職 員 給 与 費	1,108,380	1,038,261	1,179,736	1,194,486	1,168,186
受 水 費	2,067,713	1,920,530	1,968,029	1,897,959	1,870,653
動 力 費	175,125	215,853	206,375	214,478	216,544
委 託 料	403,445	468,493	468,493	468,493	468,493
減 価 償 却 費 等	935,937	967,000	918,578	980,422	1,034,481
支 払 利 息	250,787	236,878	226,795	219,280	224,327
そ の 他 の 経 常 支 出	806,795	962,606	967,440	970,135	970,822
特 別 損 失		844,518			
単 年 度 損 益	318,113	397,263	124,640	49,513	7,634
積 立 金	310,000	0	0	0	0
累 積 損 益	13,048	4,695,733	181,534	35,989	164,454
参 考 : 単 年 度 損 益 (平成25年度までの 会計基準で算出した場合)	318,113	602,000	74,032	145,545	200,443

<資本的収支>

(単位:千円、税込)

総 収 入	737,948	859,459	1,027,200	1,827,200	1,827,200
企 業 債	400,000	700,000	900,000	1,700,000	1,700,000
開 発 負 担 金	134,520	110,000	110,000	110,000	110,000
補 助 金	51,630	0	0	0	0
そ の 他 の 収 入	151,798	49,459	17,200	17,200	17,200
総 支 出	2,210,465	2,820,800	3,183,937	5,159,045	5,244,324
建 設 改 良 費	1,652,944	2,255,639	2,607,366	4,575,303	4,657,743
企 業 債 償 還 金	557,521	565,161	576,571	583,742	586,581
差 引 過 不 足	1,472,517	1,961,341	2,156,737	3,331,845	3,417,124
企 業 債 残 高	8,736,709	8,871,548	9,194,977	10,311,235	11,424,654
資 金 残 高	4,793,027	3,757,497	2,687,878	681,243	1,458,416

資金残高はそれぞれ年度末現在での事業運営のための正味運転資金を表しています。健全な事業運営のためには、一定の運転資金の確保が必要となります。

6 . 参考資料

アセットマネジメント における吹田更新基準

水道の各施設には会計処理上の法定耐用年数が定められています。

しかし、実際には各施設に対して調査に基づく維持補修などの長寿命化を図ることで、法定耐用年数を超えて施設の機能を確保しています。

本市では、施設ごとにこれまでの実績と重要度・優先度に応じた更新時期の設定を行い、これを吹田更新基準とし、必要な維持補修を加えながら計画的に更新を実施することとしています。

施設における吹田更新基準

区分	法定耐用年数	吹田更新基準	
	年数	重要度・優先度 (大)	重要度・優先度 (小)
	年数	年数	年数
建築	50	60	70
土木	60	65	80
さく井	10	30	-
電気	20	25	30
機械	15	20	30
計装	10	15	20

井戸

送配水ポンプ
バルブ
空気圧縮機
薬注設備 等

電算システム
流量計
遠隔監視装置
水質計器
送配水制御装置 等

管路における吹田更新基準

区分		法定耐用年数	吹田更新基準	
管種	腐食防止 シート の有無		重要度・優先度 (大)	重要度・優先度 (小)
		年数	年数	年数
鋳鉄管		40	40	60
ダクタイル 鋳鉄管	非耐震		60	80
			80	100
	耐震		60	80
			80	100
鋼管	非耐震		40	60
	耐震		40	60
塩化ビニル管				40
ポリエチレン管			40	

アセットマネジメント 施設の機能水準や劣化状況を長期的に評価し、更新時期の平準化と総事業費の縮減を図るための資産の管理手法のこと。